

〔別記5〕

(アスレティックトレーナー養成のための課程の履修)

履修規則第24条に基づく、アスレティックトレーナー課程の履修は次表のとおりとする。

以下の科目は、すべて修得すること。

東京柔道整復学科

日本スポーツ協会指定科目		本学開講科目名		履修年次
科目内容		授業科目	単位	
共通科目	<b>コーチングを理解しよう</b> 1. コーチングとは 2. コーチに求められる役割 3. コーチに求められる知識とスキル 4. 対他者力を磨こう 5. 対自己力を磨こう 6. スポーツの意義と価値 7. スポーツの価値を守るスポーツ権 8. スポーツの自治ーガバナンスとコンプライアンスー 9. 暴力・ハラスメントの根絶 10. スポーツのインテグリティ 11. スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 12. スポーツ仲裁 13. スポーツ倫理 14. 時代をリードするコーチング	コーチング論 I 体育・スポーツ経営学	2 2	1年後期 1年後期
	<b>グッドコーチに求められる医・科学的知識</b> 1. スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系 2. 体力のトレーニング 3. スキルトレーニング 4. 心のトレーニング 5. スポーツと栄養 6. スポーツに関連する医学的知識 7. アンチ・ドーピング	スポーツトレーニング入門 生理学 I 生理学 II 生理学 III 生理学 IV 運動学と行動 スポーツ心理学基礎 スポーツと食事 スポーツ医学概論	2 2 2 2 2 2 2 2 2	1年前期 1年前期 1年後期 2年前期 2年後期 2年前期 2年後期 3年前期
	<b>現場・環境に応じたコーチング</b> 1. コーチング環境の特徴 2. ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング 3. スポーツ組織のマネジメント 4. 障がい者とスポーツ	コーチング論 II	2	2年前期
専門科目	<b>JSP0-ATの役割</b> 1) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSP0-AT)とは 2) JSP0-ATのコンピテンシーに応じた業務と運営 3) JSP0-ATの活動と倫理および運営管理 4) JSP0-ATの安全と健康管理、セルフマネジメント 5) スポーツ医・科学チームとスタッフ 6) エビデンスに基づいた運営 (EBP) 7) 関係者・対象者とのコミュニケーション	JSP0-ATの役割	2	1年前期

専 門 科 目	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防 1) スポーツ現場における安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防の概念 2) スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害・事故・疾病の実態 3) 各種要因が安全・健康管理に及ぼす影響 4) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSPQ-ATの役割 5) 健康管理 6) スポーツ外傷・障害の予防 7) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用 8) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因への対応	AT総合演習 I AT総合演習 II	2 4	3年前期 3年後期
	コンディショニング 1) JSPQ-ATの役割としてのコンディショニング 2) コンディショニングのプログラムデザイン 3) 競技特性の分析 4) トレーニング各論 5) コンディショニングに関するそのほかの情報	コンディショニング I コンディショニング II トレーニング科学演習	4 2 1	1年前期 2年後期 1年後期
	リコンディショニング 1) リコンディショニング総論 2) リコンディショニングで用いる代表的な手法 3) リコンディショニングにおける評価とプログラミング 4) リコンディショニングに必要な組織修復、治癒過程の知識 5) 機能的、身体的な状態に応じたリコンディショニング 6) 部位ごとの状態に応じたリコンディショニング 7) スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング	リコンディショニング I リコンディショニング II	4 2	2年前期 3年前期
	救急対応 1) スポーツ現場と救急対応 2) 救急対応の考え方 3) スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画 4) スポーツ現場での外傷、障害の評価とその手順 5) 外傷時の救急対応 6) 内科的疾患に対する救急対応 7) 各競技における救急体制の実際	救急医療 救急医療（実践）	2 2	2年後期 3年後期
	検査・測定と評価 1) JSPQ-ATの行う検査・測定・評価とは 2) JSPQ-ATの行う検査・測定・評価の実際	検査・測定と評価（実習含む）	3	3年前期
	人体の解剖と機能 1) 上肢・体幹 2) 骨盤・下肢	解剖学 I 解剖学 II 解剖学 III 解剖学 IV	2 2 2 2	1年前期 1年後期 2年前期 2年後期
	スポーツ科学 1) 運動生理学 2) バイオメカニクス 3) 体力・運動能力向上と外傷・障害予防に必要なスポーツ科学の応用知識 4) スポーツ科学の基礎知識の体力・運動能力向上と外傷・障害への活用	スポーツトレーニング入門 バイオメカニクス 運動学と行動 生理学 I 生理学 II 生理学 III 生理学 IV	2 2 2 2 2 2 2	1年前期 3年前期 2年前期 1年前期 1年後期 2年前期 2年後期

	<p>スポーツ医学</p> <p>1) 上肢・体幹・下肢の代表的なスポーツ外傷・障害</p> <p>2) スポーツ現場で起こりうる留意すべき重篤な外傷・障害・疾病</p> <p>3) スポーツ活動と関連する代表的な循環器疾患、呼吸器疾患、代謝性疾患、血液疾患等</p> <p>4) スポーツ現場で起こりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷および疾病</p> <p>5) 対象別（女性、高齢者、発育期、パラアスリート）によるスポーツ外傷・障害の特徴及び医学的留意事項</p>	<p>スポーツ医学概論</p> <p>健康管理とスポーツ医学</p>	<p>2</p> <p>2</p>	<p>3年前期</p> <p>3年後期</p>
現場 実習	見学実習	アスレティックトレーナー見学実習	1	1年前期
	スポーツ現場実習 (ストレッチング、テーピング、応急措置等)	アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ	1	1年後期
	検査・測定と評価実習、 アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習	アスレティックトレーナー現場実習Ⅱ	1	2年前期
	アスレティックリハビリテーション実習 (プログラム作成、実施等)	アスレティックトレーナー現場実習Ⅲ	1	2年後期
	総合実習	アスレティックトレーナー総合実習	2	3年通年